



まちと空港の ストーリー



平成31年(2019年)1月に開港80周年を迎えた大阪国際空港。日本の高度経済成長を背景に、昭和45年(1970年)の日本万国博覧会開催をきっかけとして拡張整備され、ピーク時には年間2300万人を超える旅客数で西日本の「空の玄関口」としての役割を担ってきました。

いま大阪国際空港は、国内線の拠点空港として来訪者を迎えるだけでなく、飛行機に乗らない人も楽しい時間を過ごせる場所として生まれ変わりつつあります。そして、迫力ある飛行機の姿を間近で見ることが出来る空港として、全国から飛行機ファンが集まります。そんな大阪国際空港の魅力の数々をご紹介します。空港があるまち、豊中がもっと面白くなります。

■大阪国際空港のあゆみ

- 1939年(昭和14年) 大阪第一飛行場として開場。戦中は陸軍航空隊の基地となる。
- 1945年(昭和20年) アメリカ軍に伊丹航空基地として接収される。
- 1958年(昭和33年) 全面返還後、「大阪空港」と改称。
- 1959年(昭和34年) 「大阪国際空港」に改称。
- 1960年(昭和35年) 国際線乗り入れ開始。
- 1964年(昭和39年) 国際線ジェット機乗り入れ開始。東海道新幹線開業、東京オリピック開催。
- 1970年(昭和45年) 3,000mのB滑走路供用開始。日本万国博覧会(大阪)開催。
- 1990年(平成2年) 大阪国際空港に関する存続協定を締結。
- 1994年(平成6年) 関西国際空港開港に伴い国際線を移管。
- 1997年(平成9年) ふれあい緑地の一部をオープン。
- 2016年(平成28年) 国内初の空港コンセッション方式で関西エアポート株式会社による運営開始。



©Kansai Airports SORAYAN

- 2018年(平成30年) 「ぞらやん」が関西3空港を運営する関西エアポートグループの公式キャラクターに就任。定時運航遵守率ランキング大規模空港部門(OAG)で世界1位受賞。
- 中央エリアおよび展望デッキ先行リニューアルオープン。
- 2020年 南北ターミナルビルリニューアルオープン予定。

目次

特集 空港へ行くストーリー

- 1 まちと空港のストーリー
- 3 空港を楽しもう！
- 5 空港で何をしよう？！
- 7 ごとごとと空港で遊ぼう！
とよなかグラフィティ
- 9 飛行機写真を撮ろう！
- 11 地域とともに
- 13 行ってみよう！
就航都市

写真提供・津上亮平さん